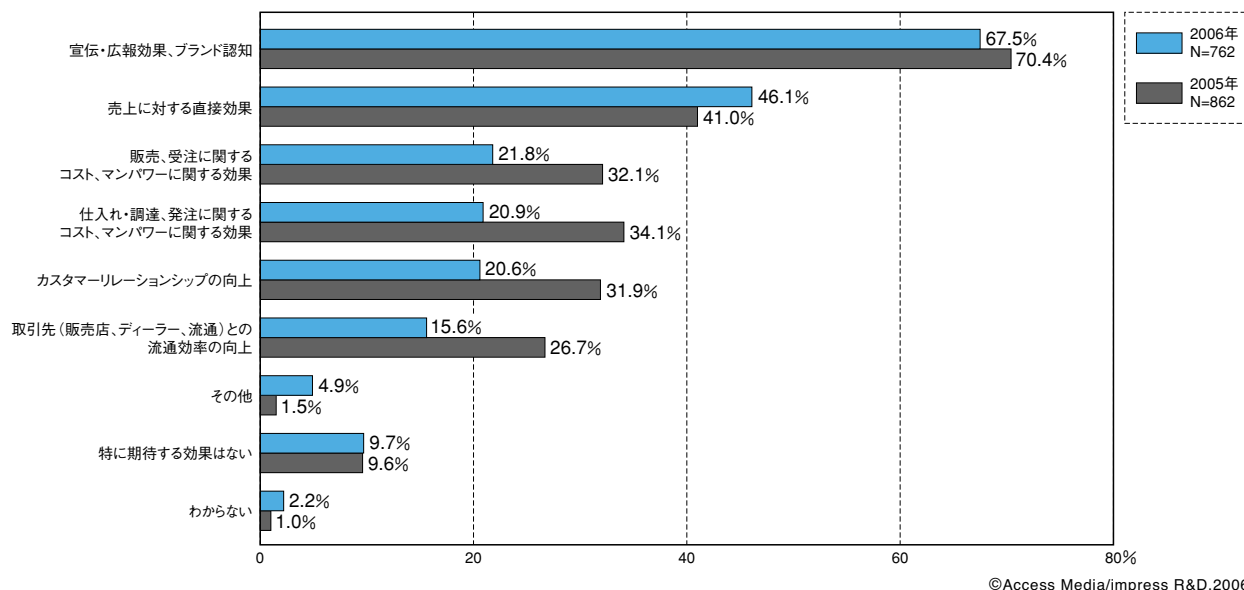


## 期待効果と課題

### 期待効果は、宣伝・広報効果、ブランド認知

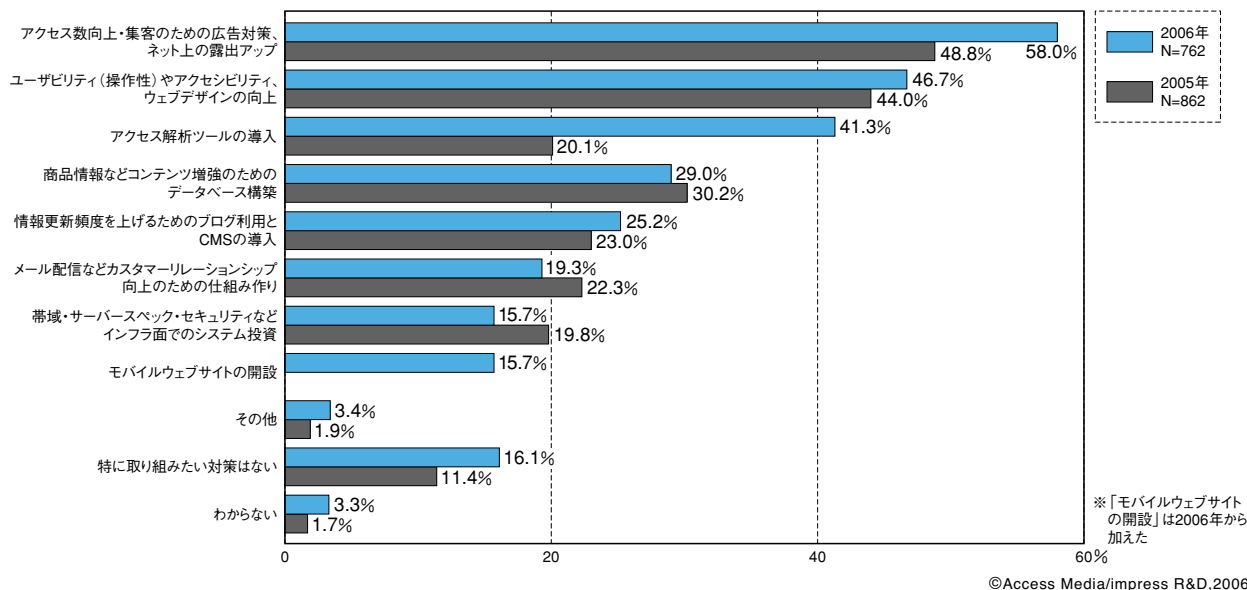
資料3-6-38 ウェブサイトに期待する効果（複数回答）[2005年-2006年]



ウェブ担当者に聞いた期待効果は「宣伝・広報効果、ブランド認知」が67.5%で2005年同様トップである。EC利用者が増加したこともあり、「売上に対する直接効果」は5%増の46.1%と期待が大きくなっている。ウェブサイトへ期待する平均項目数が2005年の2.66から2.24へと減少し、効果を期待する項目は絞られている。

### 集客のための技術向上に積極的

資料3-6-39 費用対効果を期待して今後取り組みたいウェブサイトのための技術やサービス（複数回答）[2005年-2006年]



今後取り組みたい技術やサービスは、「アクセス数向上・集客のための広告対策、ネット上の露出アップ」(58.0%)で集客のための内容が上位を占めている。2006年は「アクセス解析ツールの導入」が41.3%と2005年から倍増しており、顧客のウェブ上の行動などを把握し、売上増加を期待するものと推測される。



## [インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ [iwp-info@impress.co.jp](mailto:iwp-info@impress.co.jp)